



図 7. 左胸部—鎖骨の骨折、烏口骨の脱臼と内出血（左浅胸筋を拳上している）



図 8. 骨盤周囲に認められた複数個所の重度の骨折

3.4 手引きの更新等に資する最新の知見等の収集

「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」(以下、手引き)の公表は、平成23年1月であり、現在(平成26年3月)で約三年を経過した。

平成23年4月には、環境影響評価法が改正され、風力発電事業が対象事業に追加された(政令改正による追加)。同年8月には「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が成立した(翌年7月に施行)。同年3月に発生した東日本大震災に伴う原子力発電所の事故もあり、再生可能エネルギーへの期待が高まることとなった。

「手引き」の「第4章 今後の課題」では、「新たに得られた知見・情報を反映させて、本書の見直しや追加が適宜必要である」(第4章4-2頁)としていることから、この章では、手引き公表以後の最新の知見等について情報を整理し、検討を行うこととした。

収集した情報については、「手引き」の目次に対応させ表3-4-2に整理した。

[第1、2章 風力発電事業における環境影響評価、対策の基本的な方向]

これらの章では、風力発電事業における環境影響評価、対策の基本的な方向を説明した上で、鳥類等に係る風力発電施設の環境影響評価の実施のポイントについて記載している。

「環境影響評価法の改正」

環境影響評価法の改正により、更新された主な項目は以下のとおりである。手引きの更新に際しては、これら改正項目に対応させる必要がある。

- ・計画段階配慮事項の手続の新設。事業の計画段階において環境影響評価を実施。
- ・環境保全措置等の結果の報告・公表が求められるようになった。
- ・環境大臣の意見提出は、配慮書段階、方法書段階、評価書段階及び報告書段階の4段階で実施されるようになった。
- ・方法書段階での説明会の義務化。
- ・電子縦覧の義務化。
- ・風力発電施設の設置を法の対象事業として追加。

(<http://www.eac-net.co.jp/blog/wp-content/uploads/2011/10/asesuhou.pdf> から抜粋)

(環境省)H25 風力発電所の環境影響評価のポイントと参考事例

これは「風力発電所に係る環境影響評価について、代表的な先行事例等を取りまとめるとともに、事業者や審査者等の参考となるようなポイントの整理等を行うことにより、環境影響評価法の対象に追加された風力発電所について、適切な環境影響評価の実施の推進に資することを目的として作成した」(「はじめに」より抜粋)ものである。そのうちわけは

- ・第 I 編 計画段階配慮手続に関するポイントと参考事例
- ・第 II 編 方法書以降の手続に関するポイントと参考事例

に大別され、第 II 編では、陸上風力発電所の環境影響評価に関する事例と洋上風力発電所の環境影響評価に関する事例についてそれぞれ記載されている。

このうち重要なのは、第 I 編の計画段階配慮書と思われる。手引きには「ポイント-3：候補地の選定（絞り込み）事業計画立案の際に行う候補地の選定（絞り込み）に併せて、既存の鳥類関係資料・情報を収集・整理する必要がある」とし、「候補地が決定されてから既存の鳥類関係資料を収集・整理するのではなく、候補地の選定（絞り込み）の中で、既存資料や地域の野鳥の専門家等への聞き取り等から鳥類生息状況にある程度把握した上で、決定する」としている。このプロセスは計画段階配慮書で求めるものと一致する。参考事例には、対象事業候補地を絞り込むまでの検討フロー（例）（図 3-4-1）と、先行実施モデル事業における複数案設定の考え方として、二つの仮称事業を示している（図 3-4-2、図 3-4-3）。

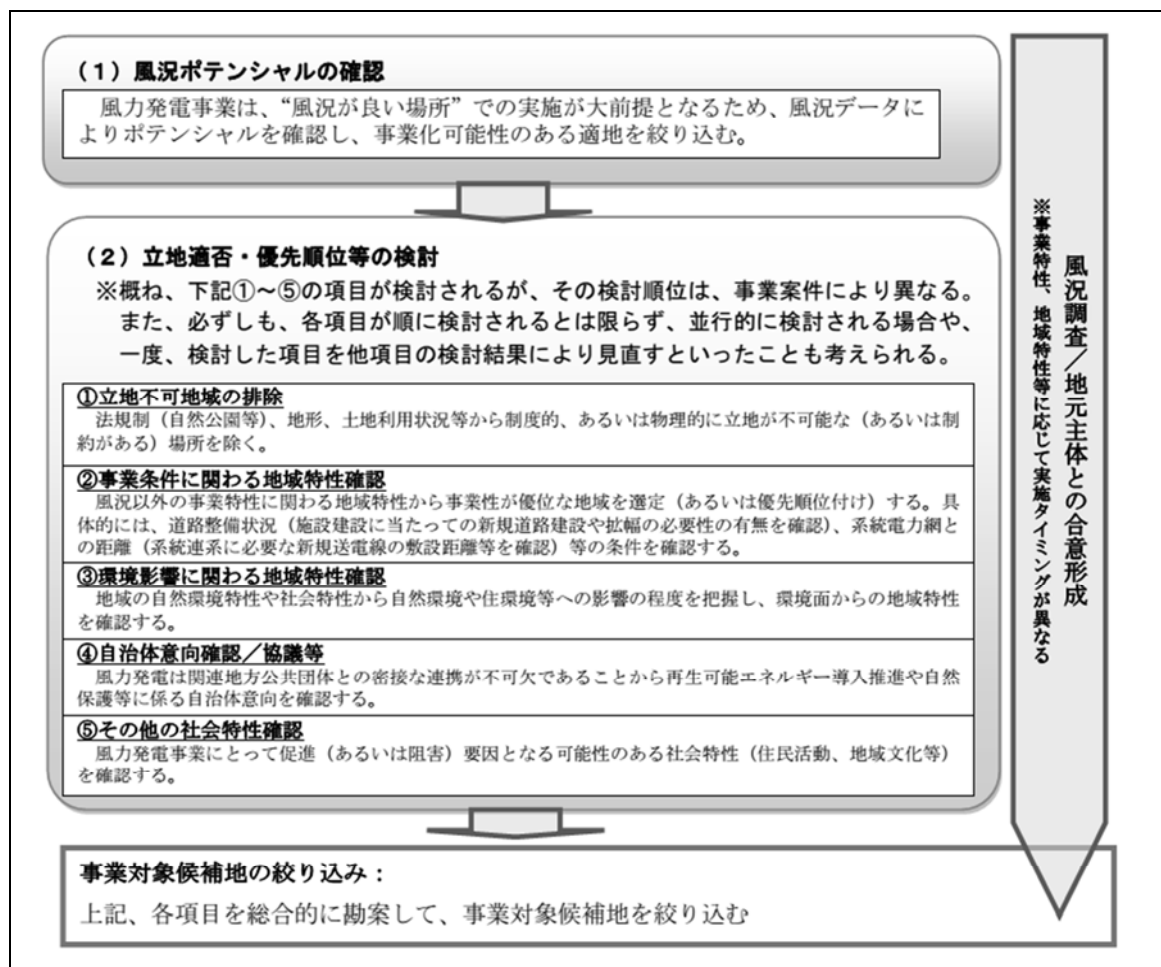


図 3-4-1 対象事業候補地を絞り込むまでの検討フロー（例）

北海道宗谷郡猿払村及び枝幸郡浜頓別町における風力発電事業(仮称)

(基本的な考え方)

風況の良い場所、法律等の制約により留意が必要な区域、環境保全上、特に留意が必要な区域、施設等を考慮し、5区域を設定している。

(複数案の絞り込みの考え方)

第一段階として、風況が適切と思われる区域（風力ゾーニング基礎情報図[環境省地球環境局]により抽出）を想定している。第二段階としては、法令等の制約を受ける場所の抽出（候補区域に含まない、または候補区域の大部分がこれらの区域とならないように配慮）をしている。第三段階としては、環境保全上、特に留意が必要な施設、区域の抽出（候補区域内となる場合は、配置検討の際に配慮）を行っている。最後に上記、第一～三段階を踏まえ、風況と留意すべき施設・場所等を踏まえ、候補区域案を設定している。

(検討フロー)

1. 風況条件による絞り込み

風力ゾーニング基礎情報図（環境省地球環境局、H24.3）により、風況条件が良いと思われる場所を抽出。

事業性配慮



2. 法令等の制約を受ける場所の考慮

自然公園（特別地域）、世界遺産地域等の各種法令等の制約を受ける場所を考慮して対象地域を絞り込み。

規制配慮



3. 環境保全上、特に留意が必要な施設、区域の考慮

学校、病院・診療所・住居等の生活環境上の配慮が必要な施設、鳥獣保護区等の自然環境保全上の配慮が必要な場所を考慮して対象地域を絞り込み。

環境性配慮

図 2-2-3 北海道宗谷郡猿払村及び枝幸郡浜頓別町における風力発電事業(仮称)での複数案設定の検討フロー

図 3-4- 2 先行実施モデル事業における複数案設定の考え方（その 1）